

# はっぽう

## 議会だより

早い春のおとずれ  
(ポンポコ山)



3月  
定例会

- 新年度事業…………… 2 ページ
- 定例会ダイジェスト…………… 3 ページ
- 予算特別委員会質疑・付帯意見…………… 6 ページ
- 一般質問 目次…………… 8 ページ
- 一般質問…………… 9 ページ
- 議会全員協議会・見上議員表彰…………… 13 ページ
- 四方八峰・編集後記…………… 14 ページ

# 四方八峰

(町を元気にする団体紹介シリーズ) No.4

## 中浜ひとつ森会

会長 白木 博さん

青年会活動が下火になりつつあった頃、比較的歴史が浅く移住者の集まりだった中浜地区では見知らぬ同士も多く、一席設けて親睦を深めることになった。その時話題に上ったのが、既に途絶えていた夏祭りや盆踊りなど幼い頃の思い出だった。地元の子供達にもあの楽しさを味わってほしい、何かできないか。思いは膨らみ1985年(昭和60年)、有志15人で「中浜ひとつ森会」を結成。夏の御神輿祭りと盆踊りを復活させ、翌年には元町議の吉田秀雄さん(故人)の助力を得て、「子どもに夢を、誇れる郷土を、地域に活力を」をキャッチフレーズに、町内から集めた35万円の寄付金で第1回雄島花火大会を開催した。ちなみに「ひとつ森」とは雄島の横に浮かぶ小さな岩礁だが、これを自分達に見立ていつかは雄島のような立派な島になるという決意を会の名称に込めたそうだ。

町を代表するイベントとなった花火大会はその後実行委員会体制に変わり、「中浜ひとつ森会」は後援の形で協力している。他にも前述の

夏の祭典や鹿嶋祭り、自治会活動への協力、盆踊り大会主催、地域の若者達との親睦、独居高齢者への除雪ボランティアなど活動は多岐にわたり、今や地元になくはない大きな存在となった。家電店を営む傍ら熱心に活動に取り組んできた会長の白木博さんは、35年間の紆余曲折の歩みを振り返り、「こんなに長くやれるとは思わなかった」と感慨深げに語った。

現在会員は30代から70代まで35人。動けるうちは活動を続け、縁の下の力持ち的存在でありたいと目標を語る一方で、このままでは先細りだと白木さんは危惧する。手伝える時と飲み会だけの参加も可、中浜以外の人も歓迎、在籍は1年単位で入退会自由、もっと若い人達を増やしたいと入会を呼びかけている。そして町には、他の団体と交流する機会を設けてほしい、そうすればお互いに刺激を受け活動にさらに力が入るだろう、女性団体との交流は特に歓迎、と冗談を飛ばしながらも期待を滲ませていた。

(取材 奈良)



中浜の夏の祭典



## 編集後記

「原因不明の肺炎」。普段なら見落としそうな新聞の小さな見出しが、なぜかそこだけ浮き上がって見えた。虫の知らせみたいなのだったろうか。今も不思議でならない。

COVID-19と命名された新型コロナウイルスはあつという間に感染拡大、パンデミックを引き起こした。人と人との物理的な接近や移動に規制がかかり、人々が集まる機会は奪われ、自由に出歩くことさえままならなくなった。

災害対策においては、空振りはいいが見逃しは許されないう。疫病も同じだ。命を守るためにやれることは全てやるべきだ。それも迅速に、そしてケチらずに！

(記 奈良聡子)

### ● 議会広報編集特別委員会

- 委員長 皆川 鉄也
- 副委員長 笠原 吉範
- 委員 山本 優人
- 委員 奈良 聡子
- 委員 悦子



第2期八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタート

「若い大人を増やす」、「子育て世帯を応援する」、「農林漁業の担い手を確保・育成する」三つの視点



10月に開園予定の峰浜ポンポコ子ども園

予算の重点方針（主要事業）

★仕事づくりのための産業振興

- ・園芸メガ団地等整備事業
- ・農地中間管理機構関連ほ場整備事業
- ・地域資源活用商品開発等支援補助金
- ・生産性向上等支援補助金
- ・冬季観光宿泊所助成券発行事業

★定住・移住対策

- ・定住促進用空き家改修事業
- ・移住支援事業
- ・地域活性化住宅整備事業
- ・八峰町住まいづくり応援事業補助金

★少子化対策

- ・結婚支援センター登録助成
- ・出会い応援事業
- ・結婚新生活支援事業
- ・若者世代等生活応援プレミアム50商品券交付事業

★人口減少社会への対応

- ・高齢化社会に対応した地域公共交通のあり方検討事業
- ・交通空白地における有償運送事業への補助
- ・バス乗車券類購入への補助（半額助成）

3月 定例会  
ダイジェスト

3月定例会は3月4日（水）から19日（木）の16日間の日程で開催し、条例の制定や改正、一般会計等の補正予算や新年度予算等の議案が上程されました。そのほか、陳情7件を審議しました。一般質問では、4人が登壇し、町政を質しました。



議会風景

人事案件

八峰町教育委員会委員の任命

● 福士保洋氏（石川・再任）



投票の結果、賛成10人  
反対1人の賛成多数で同意しました。

八峰町沢目財産区管理委員の選任

● 芹田正嗣氏（岩子郷中代表・新任）



● 阿部富廣氏（水沢郷中代表・新任）



● 笠原吉範氏（水沢郷中代表・新任）



新年度予算

令和2年度一般会計予算

予算総額62億100万円

「」の予算に反対します

見上 現在の制度では、子どもが増えるたびに国保税が値上がりすることになる均等割りを廃止すべきである。

また、放課後児童クラブはランチルームではなく専門の施設を設けるべき。ランチルームにはランチルームの機能があり、立場が違う。

奈良 ジオパーク推進協議会が町に移っていいよ本格的に事業を推進することになったが何の事業が核になるのか分からないし、真新しい事業もない。積極性もない。

また、チャレンジデーは本当に健康寿命を延ばすことに繋がっているのか。日本財団から補助金が実行委員会に支給されていることに対して事業の妥当性と透明性に疑問がある。

「」の予算に賛成します

須藤 財政調整基金・町村振興基金が5億円台で使われている。持続可能な町をつくるためには、財源というものをある程度確保して予算組みをしなければならぬのではないのでは。慎重に予算を執行していただきたい。

皆川 この予算は町民が1年間安全・安心して暮らしていくための必要最低限の予算である。これを4月1日に速やかに執行するためには本会議で可決しないといけない。

特別委員会でも議論してまとめ上げたこの予算を支持する。



採択された陳情

● **医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情**  
 (提出者 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川洋基)

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣に意見書を提出  
 (全員賛成で採択)

● **介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する陳情**

(提出者 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川洋基)

この陳情に反対します

山本 介護従事者だけが低賃金で仕事をしているわけではない。職業の選択は自由であり、他に職を求めることができる。

この陳情に賛成します

総務民生常任委員会(水木・笠原・奈良・芹田・芦崎) 介護従事者の低賃金、過重労働の実態は改善されていない。このことから人手不足を深刻化させ、利用者の安全や介護の質にも影響を及ぼしかねない。

見上 介護現場というのは人に対する一番尊い仕事でないかと思う。働いている人の労働を認めてそれなりの対価を与えた賃金をやるべき。そうすれば仕事を辞める人もいない。

(賛成多数で採択)

内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣に意見書を提出

石川洋基・秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦

この陳情に反対します

総務民生常任委員会(水木・笠原・芹田・芦崎) 陳情内容に同意できるものもあるが、個別要求事項が陳情内容を反映したものになっていない。

この陳情に賛成します

見上 若い人は本当に年金がもらえるのか大変不安を抱えている。そういう意味でも若い人たちも高齢者も安心できる年金制度、これは当たり前のことだ。

(反対多数で不採択)

● **公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情**

(提出者 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川洋基・秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦)

この陳情に反対します

産業建設常任委員会(山本・腰山・須藤・菊田・皆川) 改正教職員給与特別措置法一部改正法が国会において既に可決されているため、県としても国の指導に従わざるを得ない状況である。

この陳情に賛成します

見上 変形労働制は、国際基準でILO、ユネスコ勧告で違反とされている。教員の労働時間は、労働安全衛生法に則ったものでなければならぬ。

(反対多数で不採択)

● **ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情**

(提出者 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川洋基・秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦)

この陳情に反対します

山本 (介護) サービスは減らすな、保険料は安くしろというわがままな陳情内容だ。

この陳情に賛成します

総務民生常任委員会(水木・笠原・奈良・芹田・芦崎) サービス抑制や負担増につながる制度の見直しは、必要な介護そのものを利用できなくなることになりかねず、介護保険の財政安定化や介護従事者の処遇改善は消費税等で賄うべき。

見上 相談したくともケアプランが自己負担になれば相談できなくなる人が現れる。

ここ数年、福祉削減が急激に進んでいる。国は介護保険の利用料、利用負担などを改正すべきでない。

(賛成多数で採択)

内閣総理大臣・厚生労働大臣に意見書を提出

● **最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情**

(提出者 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川洋基・秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦)

この陳情に反対します

山本 賃金の上げ下げというのは企業の経営者の能力によるものである。

この陳情に賛成します

総務民生常任委員会(奈良・芹田・芦崎) 全国一律制の賃金にすることにより地方に人を呼ぶべき。

見上 若者が故郷の親元に帰るためには、やっぱり賃金を上げて生活できる環境をつくっていくことが大事。

(賛成多数で採択)

\*意見書については、賛成少数で否決

不採択となった陳情

● **お金の心配なく、国の責任で、安心してらせる社会の実現のため社会保障制度の拡充を求める陳情**

(提出者 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川洋基・秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦)

この陳情に反対します

総務民生常任委員会(水木・笠原・奈良・芹田・芦崎) 陳情内容に一部同意ができない部分があり、要求そのものも具体性を欠く。

この陳情に賛成します

見上 憲法第25条で全ての人が健康で文化的な生活を営む権利があるとうたっている。全部無料にしてほしいということではない。自分の持っているお金の範囲内で国の責任で安心して暮らせる社会の実現を希望する。

(反対多数で不採択)

● **若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情**

(提出者 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員

賛否が分かれた議案・陳情の採択結果 ○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決されました。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地 薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
令和2年度八峰町一般会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	可決
令和2年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和2年度介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和2年度沢目財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和2年度簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和2年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する陳情	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する意見書の提出	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める意見書の提出	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
お金の心配がなく、国の責任で、安心してらせる社会の実現のため社会保障制度の拡充を求める陳情	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●		不採択
若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●		不採択
最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情	●	●	○	○	●	○	○	●	●	○	○		採択
最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める意見書の提出	●	●	○	○	●	○	○	●	●	○	●	否決	
公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	不採択	



# 質疑

## 新年度予算審査 (特別委員会)

### ここが聞きたい!

令和2年度の一般会計及び各種特別会計に  
たり数多くの質問が出ました。抜粋してお

ついて、各分科会で審議し、町政全般にわ  
知らせします。

**問** 休校中の学校教育  
はどうしているのか。  
タブレットがあるのだから、ネットで授業をする考えはないか。

**答** 各校の課題等で自主学習としている。タブレットは学校内のWi-Fi環境で使用しているため、家庭内にWi-Fi環境が無いと使用できない。また、タブレットも全児童生徒の台数は無いことから無理と考える。

**問** 休校中の放課後児童クラブについて、利用制限をしないように。  
**答** 教育委員会からの通知として、「放課後児童クラブの利用は、原則1～3年生を対象とし、4～6年生はできる限り自宅をお願いします。」としている。

**問** 休校中の放課後児童クラブについて、利用制限をしないように。  
**答** 以前、池を埋め立てた場所に新たに建設することを検討したこともあったが、地盤の強度を考えた場合、現在の場所付近に新たに建設するのが望ましい。ただし、現在、悪臭やトイレの個数などが足りないなど、苦情や要望が無いことから、今のところ改修や新築は考えていない。

**問** マイナンバーカード(以下、「カード」)の  
①保険証としての開始時期は。  
②マイナポイントの使用期限は。  
③カード利用による住民票などのコンビニ交付についての状況は。

**答** ①令和3年3月からの予定。  
②令和2年7月から申込開始、9月からポイント付与。使用期限については、マイナポイント加盟業者それぞれによる。  
③カード読込による本人確認のため、本人以外の使用が無いとは言えず、また、発券機も非常に高額(1千万円以上)であるため、現在本町での導入は検討していない。



国が普及を進めているマイナンバーカード

**問** 防災ハザードマップ作成について、前回作成の津波ハザードマップは海岸近くの自治会館が避難場所と表示されていたので、新規ハザードマップは地域の意見も取り入れては。  
**答** 令和2年度は津波ハザードマップと土砂災害ハザードマップの2種類作成するが、各種災害での実情に合った避難所表示となるように努める。

**問** 地域おこし協力隊の募集は。  
**答** 今後も募集を継続する。元年度は、応募がない状態。平成30年度決算特別委員会で「地域課題を掘り起こし、応募しやすい環境を整えること」と意見を頂いているため、現在、各課に課題の掘り起こし作業を依頼中で、年度内に取りまとめる予定としている。



当町で力を入れている生薬事業

**問** 生薬栽培の今後の見通しは。  
**答** キキョウの収量については、他市町村で10aあたり20kgのところ、八峰町では110kgと成果が上がっている。今後は乾燥・調整

**問** 地域活性化住宅は入居者が希望すれば、払い下げは可能か。  
**答** 同条例では、払い下げ規定を設けていないため、払い下げは出来ない。

## 令和2年度予算審査付帯意見

令和2年度一般会計及び特別会計予算の審査では、特別委員会から様々な意見や要望が提出され、3月19日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。その付帯意見を紹介します。なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載します。

**意見1 防災・感染症対策備蓄品の見直し**  
今回の新型コロナウイルス感染症予防対策を受けて、マスク、消毒液などの備蓄品、数量の適正化等の見直しを行うこと。

**意見2 ふるさと納税の返礼品の充実**  
ふるさと納税の受け入れ額が低調であることから、返礼品のメニューを増やすなど、魅力ある返礼品の充実を努めること。

**意見3 産直施設の連携**  
産直施設の維持に多額の支出が伴うことから、費用対効果も求められる。産直間の連携

**意見4 補助事業の追跡調査**  
各種補助金・助成金を計上している団体・個人への補助事業について、その事業効果等を議会に報告すること。

**意見5 遊休施設の有効活用**  
空き施設となつている旧埴川小学校等、空き施設となる峰浜地区の埴川子ども園と沢目子ども園について、利用希望者の公募を行うなど有効活用に努めること。





山本 優人 議員

山本 中小建設業者は、夏場の通年雇用で、夏場は建設作業あるいは農作業に従事し、冬場は除雪作業をするという、従来からの体制はとれないと聞いている。今後の暖冬少雪に備え、委託業者に支払う機械管理費の積算方法の変更や待機補償制度の新設など検討の必要がある。

町長 除排雪業務については、道路交通の安全確保や冬期間の救急搬送、有事の避難、日常物資の流通等、住民生活という観点から必要不可欠であり、暖冬少雪などの気象状況であっても継続できる仕組みづくりが大切と考える。来年度に向けては、こうした考え方に立って補償制度に対する新たな基準を設けるなど、除雪業務に関する要綱等の整備を進めたい。

山本 最低補償ラインの固定、支払いを上げないと、経費維持できないのでは。

町長 他町村の除雪に対する補償的な内容を調査し、検討したい。



暖冬少雪時に備えて待機補償の検討を

山本

地域を支える建設業は、建設業者が多く、地域の基幹産業として町の経済発展と雇用維持に大きく貢献している。地元の建設業が適正な利潤を得て、経営基盤を強化、安定させ、それを社会に還元できるような好循環をつくるためにも、将来的な見通しをもって積極的に

町長

八峰町における建設業については、公共事業の縮小による受注機会の減少、高齢化による工務店の体力低下と人

建設業地元雇用

奨励金を設けよ

検討する

山本

材確保、働き方改革など大きな課題を抱えているが、町における主要産業の一つであるという認識を持って、今後とも応援したい。

町長

新規に地元雇用した場合に何らかの奨励金ができるか検討したい。

町長 新たな基準を設ける

山本

中小建設業者は、夏場の通年雇用で、夏場は建設作業あるいは農作業に従事し、冬場は除雪作業をするという、従来からの体制はとれないと聞いている。

町長

除排雪業務については、道路交通の安全確保や冬期間の救急搬送、有事の避難、日常物資の流通等、住民生活という観点から必要不可欠であり、暖冬少雪などの気象状況であっても継続できる仕組みづくりが大切と考える。来年度に向けては、こうした考え方に立って補償制度に対する新たな基準を設けるなど、除雪業務に関する要綱等の整備を進めたい。

山本

最低補償ラインの固定、支払いを上げないと、経費維持できないのでは。

町長

他町村の除雪に対する補償的な内容を調査し、検討したい。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

4人の議員が一般質問

定例会2日目の一般質問では4人の議員が町政について質問しました。

p 9 山本 優人 議員

- 1 建設業の振興策について
2 除雪事業について

p 10 笠原 吉範 議員

- 1 中浜地区中心部整備事業について

p11 見上 政子 議員

- 1 災害時の対策について
2 学童保育について
3 国保税の負担軽減について
4 風力発電について

p12 菊地 薫 議員

- 1 ハタハタ館の課題と、道の駅指定について
2 人口減少対策について
3 一般会計収支シミュレーションから見る将来運営について

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており時間内であれば何度でも再質問ができます。





笠原 吉範 議員

### 宅地整備事業の

### 計画地変更を

### 町長 意向調査により判断

**笠原**

中浜地区中心部整備事業（旧八森町庁舎跡地を宅地として整備する計画）の目的である若者の町外流出防止、若い移住者を増やすことによる人口減少の抑制や町の賑わい創出を図ることは、異を唱えるものではない。

**町長**

「秋田県地震被害想定調査報告書」によると、最大津波高14・36m、到達時間は28分となっている。指摘はもつともだが、利便性を考える必要がある。子ども園や小学校にも近く、八森駅や銀行・郵便局・商店も

ない場所を選定すべき。計画地の予想される最大津波高と到達時間は、調査報告書によると、最大津波高14・36m、到達時間は28分となっている。指摘はもつともだが、利便性を考える必要がある。子ども園や小学校にも近く、八森駅や銀行・郵便局・商店も

あり、子育てや生活のしやすさなどの観点から適地とした。また、高齢化が進んでいる中浜自治会の活性化にもなると考える。

**笠原**

新年度当初予算に計上している当事業の意向調査とは。

**町長**

町内に住む20歳から40歳までの若者世代に、県地震被害想定調査報告書の内容や、なぜ旧八森町庁舎跡地なのかという立地条件など町の考え方が分かる資料を添え、賛否を伺うものである。

**笠原**

2月5日に開催された議会全員協議会において、私を含め3名の議員がこの事業に異を唱えたことを受けての意向調査だと思いが、意向調査をすること自体津波のリスクの大きさを認識していることにはなるのでは。津波や土砂災害のリスクの少ない場所への変更を求め

**町長**

想定されるリスクを十分考慮し、耐震性を強化するための改修や防

波堤を高くするなどのハード対策と、津波のリスクを想定した避難訓練の実施や被災した

場合に必要な物質の備蓄など被害の軽減を図るソフト対策をしつかりとつていく。



現在空き地になっている旧八森町庁舎跡地

### 避難訓練の対策は

### 町長「土砂災害防災訓練」を新たに実施

**見上**

カーブミラーの腐食により車に損害を与えたり、電柱が折れたりしている。調査の考えは、津波と土砂災害の避難訓練は定期的な計画を立てることが大事。また、防災無線が聞こえないという声があるが、どのような対策をとるのか。

**町長**

東北電力とNNTに対し、事故直後の一斉点検と異常気象後にも臨時点検するよう要望した。

これまでの訓練に加え、新年度において、「防災ハザードマップ」を新たに作成し、避難訓練については、「土砂災害防災訓練」を新たに実施する。戸別受



災害で腐食し折れた電柱

### 低周波測定器の購入を

### 町長 町では購入の考えない

**見上**

風力発電は健康に影響を与えるものと考えられる。低周波音と騒音の測定器を購入する考えは。

**町長**

騒音及び低周波などの影響評価は、事業者の責任において実施されるものと認識しており、町で購入する必要はないと考えている。

また、八峰町再生可能エネルギーのガイドラインが発表されたが、町民にどのような効果をもたらすのか。

また、ガイドラインは、事業者が地域住民の理解のもとで事業を進めることができ、住民にとっては、安全対策について自分たちの意見や要望を適切に計画に反映させることができるなど、円満な事業推進が図られると考える。



見上 政子 議員

### ランチルームでの学童保育は適正か

### 教育長 適正と考えている

**見上**

現在ランチルームで学童保育を実施しているが、旧学校施設や新たな空き子ども園などを有効活用する考えは。

**教育長**

ランチルームは、国の面積基準を大きく上回り、児童の居住スペースは十分確保されている。クラブへの移動時間も短く、交通の安全

この他に「国保税の負担軽減について」の質問もありました。





菊地 薫 議員

### ハタハタ館を

### 「道の駅」に

### 町長 関係機関と協議する

#### 菊地

赤字決算の  
ハタハタ館の運営は憂  
慮せざるを得ない。源  
泉利活用検討委員会答  
申の具体化や、「道の  
駅」の機能を果たして  
いない「お殿水」を廃  
止し、ハタハタ館を  
「道の駅」としてはど  
うか。

#### 町長

ハタハタ館  
は平成29年  
度から大きな経営赤字

を計上するなど大変厳  
しい経営状況にある。  
今後の改善策として経  
営方針を取りまとめた  
「経営改善計画書」を  
作成することにしてい  
る。新源泉の利活用は  
このエリアが町を元氣  
にする中核的役割を果  
たす拠点であることを  
踏まえ、まずはハタハ  
タ館の経営安定が急務  
である。また、「道の  
駅」として登録するに

は多くの条件はあるが、  
実現できればメリット  
も大変大きい。ハタハ  
タ館を「道の駅」とい  
う考えは強くある。今  
後国や県など関係機関  
と協議する。



道の駅を「お殿水」からハタハタ館に変更できないものか

### 基金残高大丈夫か

### 町長 歳出の見直しを強化

#### 菊地

令和2年度  
予算は62億  
100万円で編成され、  
その内容は基金から5  
億9000万円の取崩  
してのものであり、昨  
年も5億6000万円  
である。この状況と将  
来の財政見直しをどう  
描いているのか。

#### 町長

財政シミュ  
レーション  
から見る基金残高は本  
年度末見込みが27億円  
であり、このまま推移  
すると令和5年度には  
基金が枯渇することに  
なる。今後はこれまで  
以上の歳出の見直しを  
強化し、事業の取捨選  
択を行いながら、限ら  
れた予算で最大の効果  
が発揮できるよう努力  
する。

### 人口減少対策は

### 町長 「第2期創生総合戦略」 で対応

#### 菊地

移住・定住・  
少子化の強  
化策として数々の事  
業・企業誘致や地域お  
こし協力隊事業が展開

#### 町長

一定の効果  
を上げてい  
る事業もあると考え、

移住・定住・  
少子化の強  
化策として数々の事  
業・企業誘致や地域お  
こし協力隊事業が展開

### 議会全員協議会から 旧八森町庁舎跡地 整備事業について

当町では、2月5日

(水)と2月26日

(水)及び3月19日

(木)に議会全員協議  
会が開催され、町から  
新規事業や新年度予算  
コロナウイルスに対す  
る町内事業所からの要  
望対応について説明が  
ありました。

その中で、2月5日

に説明があった中浜地  
区中心部(旧八森町庁  
舎跡地)整備事業につ  
いてお知らせします。

#### 町からの説明

- 1. 事業名 中浜地区  
中心部整備事業
- 2. 分譲条件 申請時  
夫婦のいずれかが40歳

未満、または高校生ま  
での子どもがいる世帯。  
3・事業年度 令和2  
年度〜譲渡完了まで  
4・事業規模 712  
0万円  
5・事業目的 「土地  
がない」「役場の遊休  
地を分けてもらえない  
か」等の土地の取得に  
対する相談が多く寄せ  
られたため  
6・旧八森町庁舎跡地  
である理由

こと自体理解できない。  
場所の再考を希望する。  
答 このことについて  
は一番心配していたこ  
とだが、現在津波浸水  
域には松波団地などが  
ある。分譲宅地に来る  
人がどういふ所に住  
みたいか。また、津波  
災害の危険性を前面に  
出して事業を進めた場  
合に若い人が来るのか  
危険性はあるが、現在  
たくさんの方が住んで  
いることもあり、避難  
訓練など安全活動をす  
ることによってこの事  
業が可能なのではない  
かと考えた。

問 中浜地区の計画地  
を分譲して欲しいとい  
う要望は何件くらいあ  
ったのか。  
答 この計画地につい  
ては1件だが、八森地  
区に建てられる場所が  
ないかという問い合わせ  
は数件あった。

①子育てのしやすさ  
八森子ども園、八森小  
学校が近い。  
②生活のしやすさ 銀  
行や郵便局、各種商店  
が近い。

問 この条件で計画が  
満たされるのか。結果  
として(土地が)残っ  
たらどうするのか。  
答 提案する以上、6  
区画全部埋まると見て  
いるがリスク部分も考  
えなければならぬ。  
何年も埋まらなければ  
町が公営住宅を建てる  
ことも可能だが、今は  
この計画が実現できる  
と考えて提案している。

問 土砂災害とか津波  
の心配はあると思うが  
若者世帯を入れるとい  
うことは地域のために  
なり、住民にとつては  
頼もしくもある。  
宅地が残った場合は  
独身者のアパートや高  
所得者に分譲して欲し  
い。

立地条件

議員から町へ(質疑)  
(一部抜粋)

問 自治会活動に若い  
人達が入ってくること  
により、活性化が図れ  
るといふ思いもある。  
アパートについては  
念頭になかったが、説  
明会等でニーズを把握  
して進めていきたい。

問 この事業の目的は  
理解できるが、万が一、  
津波が来た場合、避難  
出来るのか。  
平成27年の八峰町の  
防災会議の資料では、  
津波の想定が14・36m  
とある。若い町民を危  
険にさらすような場所  
にこういう計画をする

問 若い人は住む所に  
敏感である。計画地は  
町が無償にしないと売  
れない土地である。そ  
ういふ所に町が分譲を

進めるのはいかがなも  
のか。  
若者を守って、なお  
かつ、八峰町に住んで  
もらう。そういう計画  
にして欲しい。  
答 津波が危険という  
思いはある。ただその

部分に気にしすぎると  
町づくりがなかなか難  
しい。  
津波から人命を防ぐ  
取り組みをしながら地  
域を活性化していくこ  
との両面を選ばなくて  
はならない。

秋田県町村議会議長会より  
11年以上議員在職者として  
見上政子議員が表彰されまし  
た。

### 長年町村議会議員として尽力された 功績を称え表彰されました



秋田県町村議会議長会より  
11年以上議員在職者として  
見上政子議員が表彰されまし  
た。